

基調講演 ①

舞鶴市におけるICT利活用の取組みについて

講師：舞鶴市総務部情報システム課 吉崎 豊 氏

基調講演 ②

船橋市におけるBPRの取組みについて

講師：船橋市市民生活部戸籍住民課 千葉 大右 氏

※講演に参加を希望される方は下記URLで登録が必須です。

URL：<https://www.shinsei.elg-front.jp/fukuoka/uketsuke/form.do?id=1544436288848>

ふく電協フェア

平成31年1月17日 (木)		平成31年1月18日 (金)	
講演 スペース	展示 スペース	講演 スペース	展示 スペース
8:30~9:30 全体準備		8:30~9:30 全体準備	
9:30~10:00 講演準備	9:30~11:00 展示準備	9:30~10:00 講演準備	9:30~11:00 展示準備
10:00~10:10 開会		10:00~10:10 開会	
10:10~11:30 基調講演①		10:10~11:30 基調講演②	
11:30~14:10 アンケート記載・ 相談スペース	11:00~15:30 実機体験	11:30~14:10 アンケート記載・ 相談スペース	11:00~15:30 実機体験
14:10~15:30 基調講演②		14:10~15:30 基調講演①	
15:30~17:30 後片付け		15:30~17:30 後片付け・ 撤収作業	

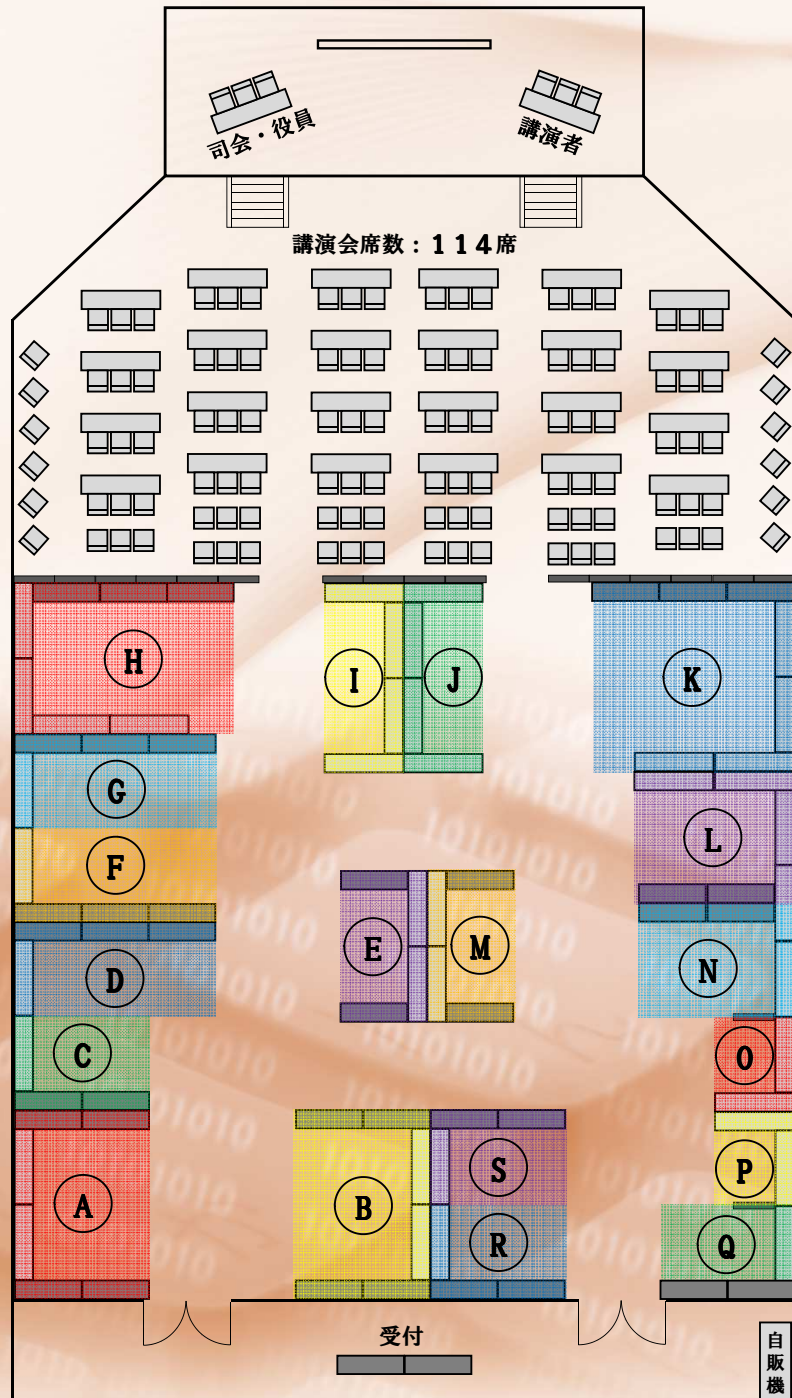
市町村職員情報システム実機体験研修会

—自治体の電子化を躍動させる—

平成31年1月17日(木)～18日(金)
福岡県庁3階講堂 10:00～15:30

主催：ふくおか電子自治体共同運営協議会

会場レイアウト



協力業者名及び実機体験製品名

富士通株式会社		株式会社日立製作所			
A	IPKNOWLEDGE 庶務事務システム	内部情報系	株式会社日立ソリューションズ西日本		
	IPKNOWLEDGE 文書管理システム	内部情報系		地域包括ケア情報共有システム	基幹系
	TIME CREATOR	内部情報系		EcoAssist-Enterprise-Light	内部情報系
	MICJET MISALIO 保育所AI入所選考 (1/18のみ)	AI・RPA		スマートアナリシス/NI	基幹系
	LiveTalk	AI・RPA	活文 Intelligent Data Extractor	AI・RPA	
行政システム九州株式会社		株式会社アイネス			
B	Acrocity 住民情報システム (住基)	基幹系	J	WebRings	基幹系
	Acrocity 総合支援型窓口システム	基幹系		AIスタッフ	AI・RPA
	AcrocityPlus給食費システム	基幹系		RPA	AI・RPA
	AcrocityPlus就学援助システム	基幹系	日本電気株式会社		
	登記履歴管理 (課税連携) システム	基幹系	株式会社BCC		
株式会社両備システムズ		K			
C	i-Blend (住民生活総合支援アプリ)	防災関連	自治体データ活用システム	AI・RPA	
	包括相談システム (福祉情報)	基幹系	高度自然言語処理プラットフォーム	防災関連	
T I S 株式会社		L			
D	DXSuite	AI・RPA	異動受付支援システム (仮称)	基幹系	
	UiPATH	AI・RPA	申請書作成支援システム	基幹系	
	Tumbler	AI・RPA	戸籍AIサービス (仮称)	AI・RPA	
株式会社NDKCOM		M			
E	TASKクラウド住基	基幹系	@infoCanal	防災関連	
	TASKクラウド税務システム	基幹系	WinActor	AI・RPA	
	TASKクラウド公会計システム	内部情報系	DX-Suite	AI・RPA	
株式会社オーイーシー		N			
F	eG-モデル 総合行政経営システム	内部情報系	Genavis SonicWeb-EXT	防災関連	
	fmSMART	内部情報系	Genavis SonicWeb-Cloud	防災関連	
	Hec-Eye (ヘックアイ)	防災関連	KMA-α	防災関連	
株式会社RKKコンピューターサービス		O			
G	総合窓口システム	基幹系	避難行動支援システム	防災関連	
	住民税システム	基幹系	東芝デジタルソリューションズ株式会社		
	財務会計システム	内部情報系	P	RECAIUS 音声書き起こしエディタ	AI・RPA
	被災者支援システム	防災関連	北日本コンピューターサービス株式会社		
株式会社九州日立システムズ		Q			
H	住民情報 (住基) システム	基幹系	福祉総合システム「ふれあい」	内部情報系	
	住民情報 (税) システム	基幹系	生活保護システム	内部情報系	
	住民情報 (福祉) システム	基幹系	福祉システム「ふれあい」	内部情報系	
	住民情報 (国保) システム	基幹系	障がい者福祉システム	内部情報系	
	desknet's NEO	内部情報系	ジャパンシステム株式会社		
	発災時初動支援キット	防災関連	R	FAST財務会計システム	内部情報系
電子入札システム	基幹系	FAST+RPA 会計審査	AI・RPA		
		S			
		リーディングエッジ株式会社			
		ROBOWARE		AI・RPA	
		SmartSESAME MultiScan !		AI・RPA	
		業務自動化アプリケーション		AI・RPA	

～ふく電協フェア～
市町村職員情報システム実機体験研修会開催報告について

1 開催概要

(1) 開催日程

平成31年1月17日（木） 10:00～16:00

平成31年1月18日（金） 10:00～16:00

(2) 基調講演

① 舞鶴市における ICT 利活用の取組みについて

講師：舞鶴市総務部情報システム課 吉崎 豊 氏

② 船橋市における BPR の取組みについて

講師：船橋市市民生活部戸籍住民課 千葉 大右 氏

(3) 展示テーマ

① 基幹系システム

② 内部情報系システム

③ 防災関連システム

④ AI・RPA 関連システム

(4) ふく電協フェア会場風景

① 開会式



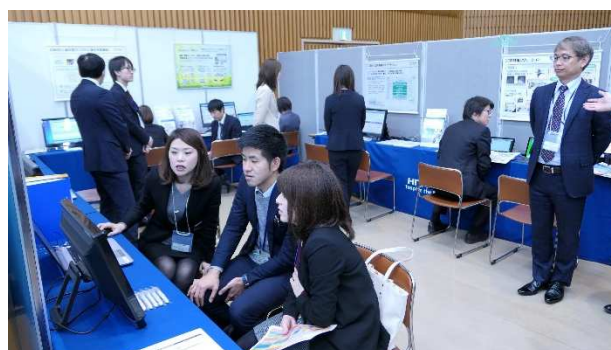
② 基調講演



③ ブース (1)



④ ブース (2)



2 来場者状況

県内60団体のうち、42団体152名が参加、1団体あたりの来場者数は約3.6名となっており、県職員の来場者は19所属51名、1所属あたりの来場者数は約2.6名であった。

18団体からの来場がなく、県、市町村ともに担当課職員の来場が少なかったことから、周知方法の検討が必要と言える。

(1) 1日目（合計：106名）

- ① 市町村職員： 71名（34団体）
- ② 県職員： 17名（9所属）
- ③ 事業者： 18名

(2) 2日目（合計：126名）

- ① 市町村職員： 81名（30団体）
- ② 県職員： 34名（16所属）
- ③ 事業者： 11名

(3) 合計

- ① 市町村職員： 152名（42団体） （1団体あたり 約3.6名）
- ② 県職員： 51名（19所属） （1所属あたり 約2.6名）

3 来場者アンケート結果（回答者：97名）（資料：11-2-3-2）

来場者の半数以上（約55%）が情報部門の職員となっており、講演及び展示についての感想は、ほぼ全員が「関心があった」、「参考になった」との回答であった。

また、「講演と実機体験が別会場だと良かった」や「講演資料が欲しかった」など、次回検討が必要な意見も多かった。

(1) 所属部門

- 情報部門： 53名（約55%）
- その他所属： 44名（約45%）

(2) 主な意見

- ① 大変参考になった。（11名）
- ② 講演と実機体験が別会場だと良かった。（講演が聞きづらかった。）（5名）
- ③ 講演の資料が欲しかった。（5名）
- ④ 実機体験の時間が足りなかった。（2名）
- ⑤ 担当職員の参加が少なかった。（1名）

4 協力（展示）事業者アンケート結果（21社）（資料：11-2-3-3）

ほぼすべての事業者（1社が展示内容がニーズに沿えていなかったため、今回はメリットが少なくなってしまうと回答）が出展のメリットを感じており、次回の開催にも協力できるとの回答であった。

また、開催時期については、部会提案の11月であれば、ほぼすべての事業者（1

社が別の展示会（J-lis フェアが11月中旬）があるため、11月下旬を希望）が参加できるとの回答であった。

(1) 実機体験団体数及び人数（事業者平均値）

団体数：17団体（最大：31、最少：4）

人数：27名（最大：53、最少：4）

(2) 改善・要望事項

① パーティションや電源ドラムは事務局にて準備して欲しい。（6社）

② 設営を前日に実施したい。（5社）

③ 県外への周知及び職員への周知方法を検討して欲しい。（4社）

④ 職員と事業者を視覚的にすぐに見分けがつくように、名札の色を変える等
区別して欲しい。（3社）

⑤ 実機体験時間をもっと長くして欲しい。（2社）

⑥ 講演と実機体験の時間や会場を完全に分けたほうが良い。（2社）

5 次回対応について（案）

(1) 講演と実機体験の別会場開催について

県庁3階には講演ができる会議室が講堂以外なく、階が分かれることとなるため、運営面及び展示への人の流れを考慮し、実施しない。

(2) 講演資料について

講演者と事前に調整を行い、資料の配布またはレジュメの作成を行う。

(3) 体験時間について

ブースの設営を前日に完了し、基調講演を1日1回に減らすことで、体験時間を長く設定する。

(4) パーティション等について

会場の仕様の統一や設営の効率化の観点から、パーティションや電源ドラム等の共用物については、事務局にて一括して準備することを検討する。なお、費用については、出展事業者にて按分とし、事務局は契約、支払事務のみ行う。

(5) 名札について

市町村職員や県職員が視覚的に識別できるように、名札の種類や色を区別するように検討する。

(6) 平成31年度ふく電協フェア来場者目標について

県内60団体のうち、18団体から来場者がなく、担当課職員も少なかったことから、周知期間の延長や複数の媒体（メールやチラシ等）を活用し案内を実施する。また、隣接県である佐賀県、熊本県、大分県への案内を検討する。

① 市町村職員：240名（60団体×4名）

② 県職員：75名（25所属×3名）

③ 他県職員：60名（3県×20名）（熊本県、大分県、佐賀県）

計：375名（85%増）